

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	事業名	部名	市民文化部(文化振興局)
	19068-1	一般遺跡調査事業	室名	まちなみ文化財室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	04:歴史文化の継承	務	款 教育費
	施策の方向	03:文化財の保存・活用	科	項 社会教育費
戦略プロジェクト		目	目 遺跡調査費	

② 目的・概要	対象	市民・保存団体
	目的・概要	開発行為等に対し、埋蔵文化財の保護を徹底するため、文化財保護法に基づく所手続きを行う。 市が実施した発掘調査、試掘調査等に伴う遺物等を適切に整理・管理する。 すでに国・県等の指定を受けている史跡等の周辺において、重要遺跡の範囲確認調査を行う。

			24年度	25年度	26年度
③ 指標	活動	① 名称 重要遺跡範囲確認調査の面積	計画値		
		補足	実績値	3000	4200
			単位	m ²	m ²
	成果	① 名称 市民による管理が行われている遺跡の数	計画値		
		補足	実績値	1	1
			単位	件	件

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績	<ul style="list-style-type: none"> ・開発行為等に対し、法律等に基づき適正に対応した。 ・発掘調査出土遺物の整理作業を埋蔵文化財整理所で行った。 ・国指定史跡「正法寺山荘跡」及び「伊勢国府跡(長者屋敷遺跡)」、また、「鈴鹿関跡」等の重要遺跡の範囲確認調査を実施した。 ・一部遺跡における、地元まちづくり団体による積極的な管理活動に支援を行った。 				総人件費 ①	2,221	平均給与額×③	
					一般職員人件費 ②	2,221		
					所要人員 ③	0.30		
					臨時職員人件費 ④			
					受益者負担額 ⑤	0		
					受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
					再翌年度への繰越額	0		
					掲前年度からの繰越額	0	0	
					総人件費	①	2,221	
					総コスト	⑥	12,285	

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	総合判定
	<ul style="list-style-type: none"> ・法に基づき文化財保護の指導をすることにより、開発行為が適切に行われた。 ・市が実施した発掘調査等で出土し整理した遺物について、歴史博物館で展示するなど整理公開が進んだ。 ・県指定史跡「峯城跡」や「新所城跡」の管理活動を行う地元まちづくり団体に対する支援により、団体の史跡管理活動が活発となり、「峯城跡」では地元保存団体が県外の中世城郭保存会を招いて見学交流会が開催されるなど、団体の活発な史跡管理活動が見られるとともに、史跡内の見学コースの清掃実施など環境改善が見られた。 ・公共工事等の有無について全庁的に照会を行い、文化財保護協議を行った。 	
	【反省点・課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・重要遺跡の範囲確認は、面積が大きい時間要するが、市内には、国・県指定の史跡が6箇所あり、順次調査を進めていく必要がある。史跡等は、面積が広大であるものが多く、その保護については地権者だけでは対応しきれないため、地元まちづくり団体の積極的な参画が不可欠であり、団体の継続的な活動が図れるよう支援を充実する必要がある。 【改善の方向性】 <ul style="list-style-type: none"> ・範囲確認調査等必要な調査を、国県等の支援を得て継続していく。 ・史跡等の保護に地元まちづくり団体の参加を求めていくとともに、保護活動に必要な支援を行う。 	A

事業目的の妥当性: 適切 | 有効性: 適切 | 最終評価確認者: まちなみ文化財室室長 嶋村 明彦